

開発から加工、製品化までの一貫生産体制をとる照明器具と電気機械器具のメーカー。プレス加工では主に照明器具や住宅用設備機器の部品を製造。数千品番の商品を生産し、顧客企業の多品種少量ニーズに迅速に答えている。

クロイ電機株式会社 京丹波工場

船舶用蛍光灯器具の開発・製造に始まる

クロイ電機(株)は1952年の創業。松下電器産業(現パナソニック)で開発部門の要職を務めた黒井基仁氏(黒井武弘現社長の祖父)が独立して起業した。創業時は白熱電球から蛍光灯への転換期であり、過酷な海に耐える防水ソケットを発明。それを搭載した船舶用蛍光灯器具が同社の初の商品であった。その後、蛍光灯からLEDへと照明の転換が行われた際にも率先して技術開発に努め、様々な環境下で使われる白色LED照明を世に送り出し、日本の省エネルギー政策

に大きく貢献した。

開発出身の現社長に交代した今も技術開発を重視する姿勢は強く、全社で約50名の企画開発スタッフを擁しており、機械設計技術やソフト&回路設計技術を駆使して日々新たな電子機器や照明器具を開発している。「デザインから最終完成品をつくり上げるまでの設計力と、源泉行程から組立工程に至るまでの製造力をもち、開発製造の一体体制によって高品質な商品を作る力が我々の強み」と黒井社長は話す。



▲ダイレクトサーボフォーamer DSF-N2-3000 (300トン)